



2009年1月  
号外

民主党プレス民主編集部

〒100-0014  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話03-3595-9988 (代表)  
press@dpj.or.jp  
http://www.dpj.or.jp

明日の日本  
生活が第一



28

—小平市議会議員—

市議会レポート

Vo1.2

# 石毛航太郎

いしげ こうたろう

2009年も頑張ります！！

早いもので、市議会議員になって2年余りが経とうとしています。皆様のご支援のおかげで、市議会議員としての活動にも慣れてきました。

政治は生活すべてにかかわっています。より住みよい街「小平」を皆様と一緒に作り、小平でたくさんの笑顔と出会える1年になりますよう努力して参ります。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

## 不況対策特別資金融資あっせんのご案内

小平市では、厳しい経営環境のもと、売上高や利益率が減少している小規模事業者の皆様の資金繰りを支援するため、新たに無利子の不況対策特別資金融資あっせん制度を始めました。

**受付期間** 平成20年12月5日～平成22年3月31日

**融資限度額** 300万円

**融資期間** 3年以内(据置期間6か月以内を含む)

**融資対象者**

- 1 小平市小口事業資金・小口零細企業融資制度の基本要件を満たしていること
- 2 経済産業省の定める中小企業信用保険法第2条第4項(セーフティネット保証)第5号の(イ)もしくは(ハ)の認定に該当すること

**資金使途** 運転資金、設備資金、運転・設備併用資金  
※既存融資の借り換えは対象外です

**年利** 0%(利子の全額を小平市が負担します)

**返済方法** 元金均等月賦償還または一括償還(6ヶ月以内)

**連帯保証人** 個人事業者の場合は原則として必要ありません  
法人の場合は、原則として代表者です

**信用保証** 東京信用保証協会の信用保証が必要です

**保証料補助** 信用保証料の1/2を小平市が補助します

# 市議会 年間活動報告

《3月 定例会から》

## 災害時の断水の備え、 震災用井戸の整備や所在地について

### 石毛航太郎 質問要旨

大規模な震災が起きたとき、水源の確保、特に生活水の確保が極めて重要であると言われていたが、市は市民に向けて震災用井戸の周知をどのように行っているか。

### 市民生活部長 答弁

防災マップに掲載しているのと、各指定井戸には看板が立っております。ただ、その看板が少々小さいこともありますので、たとえば市のほうで用意して旗などを立てていただくなどの対応を考えてございます。

また、日常の防災対策の中でどのような形で周知していったらよいかということについては、今後検討してみたいと思います。

ご存知ですか？震災用井戸。震災に備え、市が発行している「防災マップ」を参考に、是非近所の震災用井戸を探してみてください



《6月 定例会から》

## 助産所での妊産婦検診を 公費負担できないか

### 石毛航太郎 質問要旨

助産所は、身近な地域において、安心して出産できる場であり、地域周産期医療を維持していくための大きな役割となっているが、小平市では未だ助産所における妊産婦検診の公費負担がなされていない。公費負担することはできないのか？

### 小林市長 答弁

保育所などでの無料検診票の利用でございますが、現行の妊婦検診におきましては、助産所や都外の医療機関では利用ができないこととなっております。

しかしながら、本年4月より公費負担の検診回数が5回に増えましたことから、受診者にとって、より公平で利用しやすい検診とするため、助産所や里帰り出産などでの利用についても検討してまいりたいと存じます。



10月1日より、小平市でも助産所や都外医療機関での妊婦健康診査の費用の助成が始まりました！！

市報 こたいたい 平成20(2008).10.1

妊婦健康診査費用助成限度額	助成限度額
妊婦健康診査(※) 1回目	8,500円
妊婦健康診査 2回～5回目	5,000円/回
超音波検査(※) (受診票交付者のみ)	5,300円

※印は、助産所での受診は対象外です。

**助産所・都外医療機関での妊婦健康診査の費用を助成**

10月1日より、助産所や都外医療機関で妊婦健康診査を受診したが、市の受診票を利用できないために自己負担をした方、費用を助成します(限度額があります)。

10月1日(水) 助成開始

▽請求書 出産日(または受診日)から1年間  
申込み 問合せ先へ持参  
問合せ 健康課庶務係 健康福祉事務センター1階  
02(346)9641

募集 市内の各幼稚園では、平

の受診分から助成限度額(上表のとおり)※ただし、自己負担した額と比較して少ない方の額を要件。▽受診回数：交付した受診票が上限  
▽国内での受診に限る  
必要書類 ▽申請書  
▽未使用の妊婦健康診査受診票  
▽未使用の妊婦超音波検査受診票(お持ちの方のみ)  
▽助産所や都外医療機関が発行した領収書  
▽母子健康手帳の写し(妊婦健康診査などの受診記録が記入されている部分)  
▽請求書

## さらに頻発する都市型水害に備えて

### 石毛航太郎 質問要旨

異常気象により、小平市でもゲリラ豪雨と呼ばれる集中豪雨が頻発した。小平市には、はんらんの危険性が高い河川は内が、今後も集中豪雨が頻発する可能性が高くなっている。

局地的に浸水がある場合、市はどのような対策を考えているか。



8月28日 花小金井近辺の浸水状況

### 市民生活部長 答弁

豪雨による影響が予想されますと各担当課で集まり緊急時の連絡体制をしいて早急な対応に備えている所でございます。

また、雨水対策として、基本的には各家庭で土のうを積むなどの対策を講じていただくわけですが、要請があれば市からの貸与も可能です。

ゲリラ豪雨対策につきましては、日頃からの準備が必要だということで市報やホームページなどで知らせていきたいと考えております。

ホームページや市報で伝えると同時に、実際に市の職員が現場に行き、市民に浸水予想地域を伝えていくことが必要なのではないでしょうか？

是非具体的に形にしたいと思っています。



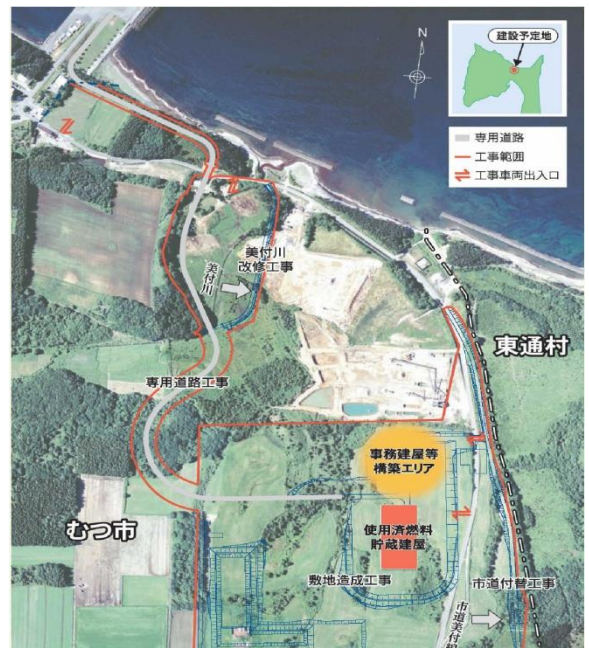
## 核燃料リサイクル燃料貯蔵株式会社

### 視察調査報告

「六ヶ所村原子力燃料リサイクル施設の稼働中止を求める意見書」が請願で出されたのを受けて、私の所属する会派で青森県むつ市にある、リサイクル燃料貯蔵株式会社をはじめいくつかの原子力関係の施設を視察させていただきました。この会社は原子力発電所で使い終わった燃料(使用済み燃料)を再処理するまでの間、貯蔵、管理することを主な事業としている会社です。

現在全国で運転中の原子力発電所は55基あります。そこから発生する使用済み燃料を処理しきれない分を貯蔵して順次処理していくために、六ヶ所村に再処理工場(中間貯蔵施設)を建設しています。

増え続ける電力需要に対して、新たな供給システムを確立しないと、今後リサイクル燃料の貯蔵量は確実に増えてきます。そうなると今後、この中間貯蔵施設も増える可能性があります。中間貯蔵施設の立地、建設に当たっては、安全性の確認を行ってはいけるものの、地震やテロ、航空機事故など起こらないとはかぎらず、対策を取っているとは言っても課題は残ります。そういった点を考えますとできるだけ早く原子力に代わる安全な電気の供給体制の確立が必要だろうと感じました。



リサイクル燃料備蓄センター計画図